

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立愛宕山少年自然の家	所管課	子育て支援課
所在地	甲府市愛宕町358-1	設置年月日 (改築年月日等)	昭和48年8月9日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立少年自然の家設置及び管理条例		
設置目的	恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自立、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ心身ともにたくましい少年を育成するため、少年自然の家を設置する。 山梨県教育委員会からの管理運営事務の委任年月日 ・昭和48年8月1日		
主な施設内容 (定員等)	1階 大ホール(144㎡) 2階 工作室(78㎡)第一研修室(74㎡)第二研修室(67㎡) 3階 食堂(156㎡)利用者入口 男女浴槽 4階 宿泊室 15部屋 定員各10人 事務室(96㎡)		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1) 山梨県立八ヶ岳少年自然の家:定員210人 (2) 山梨県立なかとみ青少年自然の里:定員108人 (3) 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:定員100人
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	施設利用者数	17,392	18,924	18,123	
	事業参加者数	445	439	942	
	利用者数合計	17,837	19,363	19,065	
	目標値	22,056	22,276	19,467	19,856
	目標値設定の考え方及びその理由	平成23年度目標値の1%増を目標値と設定している。	平成24年度目標値の1%増を目標値と設定している。	平成24年度の実績7%増を平成25年度の目標値と再設定し、その2%増を目標値と設定している。	平成26年度目標値の2%増を目標値と設定している。
	対24年度比	100.0%	108.6%	106.9%	111.3%
稼働率		35.1%	38.6%	38.9%	

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	2,377,550	2,584,000	2,478,190	2,636,000
	指定管理者委託料	56,807,000	61,742,000	61,742,000	62,257,000
	その他	834,451	406,000	1,015,053	431,000
	収入合計(A)	60,019,001	64,732,000	65,235,243	65,324,000
支 出	人件費	33,627,438	33,502,000	31,373,982	33,634,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	29,325,066	31,230,000	33,106,312	31,690,000
	うち外部委託費(B)	6,244,862	7,250,000	7,361,232	7,346,000
支出合計(C)		62,952,504	64,732,000	64,480,294	65,324,000
収支差額(A-C)		2,933,503	0	754,949	0
外部委託比率(B÷C)		9.9%	11.2%	11.4%	11.2%
利用者一人当たりの経費		2,933.8	3,171.6	3,238.5	3,135.4

5 利用者満足度

実施方法等	調査項目	実施時期：平成26年4月～27年3月、実施方法：利用者へのアンケート、回答数178人
	調査項目	実施時期：平成26年4月～27年3月事業実施時、実施方法：事業参加者へのアンケート、回答数：295人

単位：%

調査項目	満足・やや満足	やや不満・不満	無回答
施設・設備の状況	89.0%	2.4%	8.6%
職員の対応(受付・接客)	92.3%	1.8%	5.9%
事業内容	98.5%	0.3%	1.2%
食堂の内容	79.8%	4.2%	16.0%
各項目の平均	89.9%	2.2%	7.9%

利用者の意見	施設内の冷房が弱く、蒸し暑かったため、子どもの体調面が心配だった。築年数が経っているとのことでしたが、清潔感があり、とても気持ちよく使わせていただきました。 食堂のやかんが大きく、子どもには扱いづらい。 食堂業者に連絡が取りにくく、食事メニューの変更があっても、何の連絡もなかった。
利用者の意見への対応	季節に応じて快適な生活ができる環境づくりに努めていきます。 経年劣化が見られる箇所があるが、満足して利用していただけるよう、清潔な施設の維持に努めていきます。 子どもにも扱いやすいやかんを用意しました。 食堂業者へは、常時連絡が取れるよう指導をいたしました。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	定期的に巡回・点検を行うことにより、施設内の安全及び適正管理に努めている。	計画どおり適正に業務執行されている。
運營業務	安全に、楽しく利用できるよう、事前打ち合わせを適切に行い、必要な指導・援助を行った。	計画どおり適正に業務執行されている。
自主事業		
利用状況	利用者数は前年度とほぼ同程度であった。 今後更に、利用者の増加に向けて広報に力を入れていく。	引き続き利用者ニーズを適切に把握し、それに合致した事業展開を図るとともに、新規利用者確保のために広報活動を強化すること。
収支状況	収入については、概ね目標に近い金額であった。 燃料費や印刷製本費の削減を図り、施設修繕を行った。全体としては、計画どおりの予算執行ができた。	人件費など支出の削減に努めており、予算も適切に執行されている。
利用者満足度	利用者から施設の老朽化に関する指摘が多く見られたが、対応やサービス面については、高い満足度が得られている。	概ね高い評価を得ている。引き続き利用者の満足度向上に向けた取り組みを職員に徹底すること。
運営目標の達成状況	利用者数は目標値を下回ったが、主催事業には目標値を超える人数が参加しており、概ね目標は達成している。 定員を超える申込みのある事業がある反面、参加者が少ない事業も見られることから、参加者の少ない事業については、内容や実施方法の見直しが必要である。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設については、業務計画書等に基づき適切に管理されている。 引き続き利用者ニーズの把握に努め、利用者サービスの向上に努めるとともに、利用者の増加に向けた取り組みを行うこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	利用者へのアンケート調査や実施事業への参加率などを参考に、事業内容等の見直しを行っており、魅力ある施設づくりに取り組んでいる。 利用者の増加に向けて、県外でも施設の広報活動を行っている。 利用者の満足度向上のため、業務計画書に沿った適正な施設運営に努めている。	

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在

